

## 7. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします。

次回のMSJ-SIの予定は以下の通りです。

2011年度 MSJ-SI

テーマ：Nonlinear dynamics

in partial differential equations

日時：2011年9月12日(月)

～21日(水)

(受付 9月11日(日))

場所：九州大学医学部百年記念講堂

組織委員：栄伸一郎(委員長)，川島秀一，  
隠居良行，山田直紀，仙葉隆，  
小林孝行，三沢正史，辻川亨，  
池畠良

Plenary speakers：

Matano, Hiroshi (Univ. of Tokyo)

Fusco, Nicola (Univ. of Napoli)

Pego, Robert (Carnegie Mellon Univ.)

Feireisl, Eduard (ASCR)

Todorova, Grozdena (Univ. of Tennessee)

詳細については以下のウェブページをご覧ください。

<http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/>

[~ichiro/MSJ2011/MSJ2011.html](http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~ichiro/MSJ2011/MSJ2011.html)

2012年度のMSJ-SIにつきましては昨年度数学通信第三号(11月発行)で行なった2月19日締切のテーマ募集に対して応募がなく、今年度数学通信第一号(5月発行)において締切を9月10日まで延期しました。それに対して2件の応募があり、学術委員会で検討の結果、以下のように決定いたしました。

2012年度 MSJ-SI

テーマ：Schubert calculus

(シューベルト・カルキュラス)

組織委員長：成瀬 弘

(岡山大学教育学研究科)

**2013年度 MSJ-SI テーマ公募について**

学術委員会では2013年度(平成25年度)のMSJ-SIについてテーマ公募を行います。

締切は 5月31日 です。

学術委員会のウェブページ

<http://mathsoc.jp/comm/scientific/>  
をご参照ください。

MSJ-SIは、以下の特徴を持ちます。

・数学会から200万円の助成金が提供されます。

・数学会事務局が事務手続きについて可能な範囲において援助を行います。(詳細については下記メールアドレスまで問い合わせください。)

・東アジアの数学会の協力のもとで、韓国と台湾から限られた人数の大学院生、若手研究者を、数学会が招待しています。(この部分については数学会理事会の担当となっています。)

・専門家向けの講演とともに、大学院生・若手研究者向け、あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行うことを推奨しています。(これをMSJ-SIの方向とお考えください。)

数学会からのサポートについては検討中の課題もあり、それにつきましては随時、数学通信とウェブによって会員の皆さんにお知らせしたいと考えております。

公募に申請される方は、どうか締切までに、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者(事前承諾不必要)を古田幹雄(furuta(at)ms.u-tokyo.ac.jp)までお送りください。

また、上記メールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

(学術委員長 古田幹雄 記)